

春の定期演奏会

ロマン派から現代へ、エストニアの場合

指揮：トヌ・カリユステ (Tõnu Kaljuste)

おはなし：松原 千振

Program

- モテット OP.74より 第1曲
何故、悩む者に光を贈るのか?

J. Brahms: Zwei Motetten Op.74-1
"Warum ist das Licht gegeben dem Mühseligen"

- ダヴィデの詩篇集より

C. Kreek: Taavetin psalm (excerpts)

- 喜べ

Toivo Tulev: Rejoice, rejoice, rejoice!

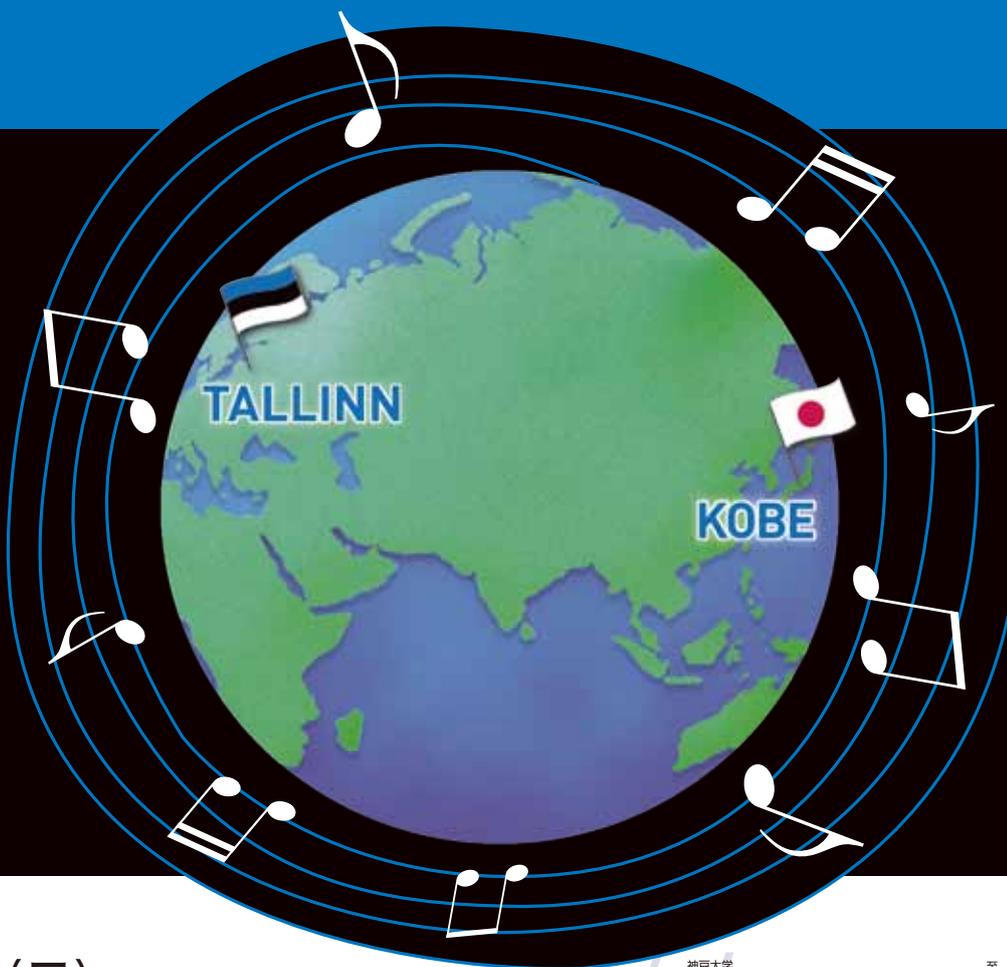
- 勝利の後で

A. Pärt: Dopo la vittoria

- ヴォティックの婚礼の歌

V. Tormis: Votic Wedding Songs

ほか



2019年3月10日(日)

神戸文化ホール 中ホール 14:00開演 (13:30開場)

入場料 (全席指定) **4,000円** / U25 (25歳以下) 1,000円

- 一般発売 11/18(日)
- 友の会先行発売 11/11(日)

- [入場券発売所]
- 神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349
 - ローソンチケット TEL.0570-084-005
Lコード:57521
 - チケットぴあ TEL.0570-02-9999
Pコード:127-180
 - CNプレイガイド TEL.0570-08-9999
 - イープラス <http://eplus.jp>
 - 神戸国際会館プレイガイド TEL.078-230-3300

※都合により内容を変更する場合がございます。就学前のお子様はご遠慮下さい。

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会
お問い合わせ：(公財)神戸市民文化振興財団 TEL：078-361-7241



神戸文化ホール

〒650-0017 神戸市中央区楠町4丁目2番2号 TEL.078-351-3535(代)

- 神戸市営地下鉄西神・山手線「大倉山駅」徒歩1分
- 神戸高速鉄道「高速神戸駅」徒歩8分
- JR「神戸駅」徒歩10分
- 神戸市営地下鉄海岸線「ハーバーランド駅」徒歩12分
- JR新幹線「新神戸駅」からは、神戸市営地下鉄「新神戸駅」から乗車の上、「大倉山駅」で下車(約5分)
- 神戸空港からは、ボートライナー「神戸空港駅」から乗車し「三宮駅」で下車(約18分)
神戸市営地下鉄にお乗り換えの上、「大倉山駅」で下車(約4分)

～春の定期演奏会に寄せて～

カリユステによって開かれたエストニア合唱

1869年、現在に至るあの「歌の祭典」がエストニアの大学都市、タルトゥにおいて始まった。時は帝政ロシアの時代、作曲家は、「歌の祭典」のために、それは多くの合唱曲を創造してきた。それは、エストニア合唱が力を示す時代の始まりだった。「歌の祭典」で合唱団員として参加したカリユステ、父も合唱指揮者。彼はこの国のロマン派から現代の合唱曲、そして合唱曲をリードし、世界にこの国の存在を歌により、示した人となった。

今回のコンサートは一端ではあるが、カリユステの指揮により、エストニアという国を歌で感じてみたい。

神戸市混声合唱団の30周年に際し、客演指揮者としてトヌ・カリユステを招聘することは、新しいレパートリーの確立、合唱技術のあり方、更にエストニア合唱文化と日本合唱の意義ある交流となることを確信する。

神戸市混声合唱団 音楽監督 松原 千振

Profile



トヌ・カリユステ 指揮

Tõnu Kaljuste

1953年EU. エストニア人指揮者。自国での勉学の後、エストニアフィルハーモニー室内合唱団を創設した。1970年代後半から、この国の合唱作品を国際的に広め、合唱の国の指揮者としての役割を担い始めた。特にエストニア人作曲家 ヴェリヨ・トルミス(1930-2017)、アルヴォ・ペルト(1935-)の作品の演奏に努め、世界の合唱団のレパートリーに定着させた。1991年、エストニアフィルハーモニー室内合唱団と共に初来日し、日本合唱界に新しい合唱音楽を示し、更に1998年、スウェーデン放送合唱団の初来日に指揮者として同行した。その際、アルフレート・シュニトケの合唱曲を演奏し、大きな刺激を与えている。これまでに、オランダ室内合唱団、スウェーデン放送合唱団等で主席指揮者を務め、トルミス、ペルト、タネーイエフ、シュニトケ、ペンデレッキ等の合唱音楽をCD化している。



松原 千振 おはなし

Chifuru Matsubara

1951年長野県生まれ。国立音楽大学卒。渡欧。シベリウスアカデミーに学び、マスタークラスを修了。エーリク・エーリクソン、ダン・ウーロフ・ステーンランドに師事。1978年からフィンランドを中心に北欧及びバルト諸国で活動。ヘルシンキ大学男声合唱団の第二指揮者として、多くの初演を手がけ、1985年からフィンランド放送室内合唱団の指揮者としてルネサンス時代の作品の指揮にあたる。また1987年春に、フィンランドで発見された膨大な曲数にのぼる中世の単旋聖歌について、その解説を含む復元作業をフィンランド放送協会から 委嘱され、その整備のかたわら蘇演にも当たっている。なお、このために同放送協会は12人の古楽合唱団(セトウス・ノステル)を編成し提供している。1988年から、欧米のプロ合唱団の客演指揮者を常時、務めている。1995年東京混声合唱団第150回定期演奏会に初登場。1997年東京混声合唱団常任指揮者に就任。2013年から同合唱団正指揮者に就任。2017年から神戸市混声合唱団音楽監督に就任。「ジャン・シベリウス 交響曲でたどる生涯」を上梓。



神戸市混声合唱団

Kobe City Philharmonic Chorus

1989年に神戸市により設立された日本を代表するプロフェッショナルの合唱団。神戸を拠点に童謡・唱歌、日本歌曲、外国歌曲、オペラ、シャンソンまで豊富なレパートリーをもち、市民に身近な合唱団として親しまれ「音楽のまち神戸」推進に大きな役割を果たしている。2005年には、ウラディーミル・アシュケナージ指揮、NHK交響楽団と「レクイエム」(阪神・淡路大震災10年)を共演。2010年、合唱の国ラトヴィア(リガ市)で世界的に有名な室内合唱団「アヴェ・ソル」とジョイントコンサートを行い、姉妹合唱団協定を締結。2013年7月、リガ市からの招聘により、ユネスコ無形文化遺産であるラトヴィア「歌と踊りの祭典」に出演。また、2011年に初のCD、特別演奏会「宇野功芳叙情の世界」を、2012年には第2弾CD「宇野功芳叙情の世界2」をリリースし、レコード芸術特選盤などに選出される。澄みきった密度の高い合唱は、美しい神戸ハーモニーとして高い評価を得ている。

無料託児サービスのご案内

定員10人
(先着順)

■託児対象：1才～就学前まで ■利用時間：13:30(開場時)～終演20分後
2月22日までにお電話で下記にお申し込みください。
(公財)神戸市民文化振興財団 TEL:078-361-7241

神戸市混声合唱団 春の定期演奏会 プレイベント 定期演奏会を楽しむ講座

下記の2会場で開催致します。席に限りがございますので、下記申し込み先にお電話にてご予約ください。

講師：松原 千振 出演：神戸市混声合唱団

受講料：¥500 ※3月10日「春の定期演奏会」のチケットをお持ちの方は無料で受講していただけます。

2019年2月14日(木)

14:00～15:30

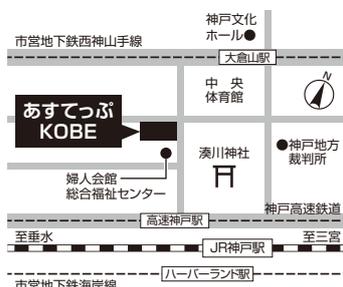
場所：

神戸市男女共同参画センター

「あすてっぶKOBÉ」4階

「練習室1」

神戸市中央区橋通3丁目4-3



2019年2月28日(木)

14:00～15:30

場所：

クリスチャンセンター

神戸パイブル・ハウス

神戸市中央区磯上通

4丁目1-12



申込先：(公財)神戸市民文化振興財団 TEL:078-361-7241